

共同研究奨励金グループ活動報告

「植民地近代性の国際比較——アジア・アフリカ・ラテンアメリカの歴史経験——」

人間科学部 永野善子

1. 研究の目的

本研究は、「植民地近代性」が現れている領域として、「帝国」、「植民地主義」、「ナショナリズム」、「国民国家」、「脱植民地化」、「エスニシティ」の6つの課題を取り上げ、アジア・アフリカ・ラテンアメリカの諸地域を対象として、以下の6つを課題として共同研究を行う。そのうえで、「植民地近代性」の概念の新たな構築をめざすものである。

2. 研究グループ・メンバー構成：

永野善子（人間科学部）、小馬 徹（人間科学部）、後藤政子（外国語学部）、尹 健次（外国語学部）、村井寛志（外国語学部）、泉水英計（経営学部）、高城 玲（経営学部）、藤村是清（本学非常勤講師）、菅原 昭（本学非常勤講師）、岡田泰平（成蹊大学）、中林伸浩（松蔭横浜大学）

3. 本年度の研究活動について

本共同研究の参加メンバーは各自のテーマにしたがって、海外・国内における資料・聴き取り調査を実施するかたわら、本共同研究メンバーによる2回の定例研究会と海外から講師を招聘した特別講演会を開催した。さらに、2011年3月には箱根におけるセミナー合宿を予定している。

〈第1回研究会〉

日時：6月5日（土）午後4～6時

場所：本学17号館401号室

講師：菅原 昭氏（神奈川大学非常勤講師）

論題：「タイ近代と小農的世界：小農的論理の相対的自立性について」

〈特別講演会〉

日時：11月13日（土）：午前10時～12時

場所：つくば国際会議場（第2回国際フィリピン研究会議）

講師：ベリンダ・A・アキノ氏（ハワイ大学名誉教授）

論題：「グローバル化する世界における新しいフィリピン政治像を求めて」

（使用言語：英語）

〈第2回研究会〉

日時：12月1日（水）：午後4～6時

場所：本学17号館401号室

講師：藤村是清氏（本学非常勤講師）

論題：「環太平洋 移動の海の形象：ディアスポラ論と植民地近代性」

〈箱根セミナー合宿予定〉

日程：2011年3月22日（火）～23日（水）
（1泊2日）

場所：神奈川大学箱根保養所

プログラム：

第1日午後：尹健次氏報告

（午後3時～5時）

（本学教授：日韓思想史）

第1日夜：懇親会（午後7時～9時）

第2日午前：レイナルド・イレート氏報告（午前9時半～11時半）

（国立シンガポール大学教授：東南アジア研究）

第2日午後：中林伸浩氏報告

（午後1時～3時）

（松蔭横浜大学教授：人類学・アフリカ研究）

4. 2011 年シンガポール・ワークショップにむけての準備

本共同研究グループは最終年次の 2011 年度 11 月に国立シンガポール大学人文社会科学部の協力をえて、同大学で公開ワークショップを開催し、その成果を英語で発表する準備を行っている。本研究グループから、永野善子、小馬徹、尹健次、村井寛志、高城玲、岡田泰平の 6 名が参加を予定している。

(注記：本報告は、共同研究グループ「植民地近代性の国際比較」の活動報告をかねる)。